

平成 23 年度第 2 回 IODP 部会執行部会

日時:2011 年 6 月 2 日(木) 15:30~18:30

場所:JAMSTEC 東京事務所 大会議室

出席者:

執行部:川幡穂高(部会長・東京大学大気海洋研究所) 西 弘嗣(部会長補佐・東北大学)
井上麻夕里(東京大学大気海洋研究所) 木村純一(海洋研究開発機構) 中西正男(千葉大学)
中村恭之(海洋研究開発機構) 七山 太(産業技術総合研究所) 道林克禎(静岡大学)
村山雅史(高知大学海洋コア総合研究センター) 森田澄人(産業技術総合研究所)
横山祐典(東京大学大気海洋研究所)

オブザーバー:

池原 研(産業技術総合研究所)
CDEX:東 垣、江口暢久
文部科学省海洋地球課:嶋崎賢太
事務局:梅津慶太(CDEX)

欠席者:鈴木庸平(東京大学) 小林励司(鹿児島大学) 辻 健(京都大学)

議事次第(案)【担当(敬称略)】

1. J-DESC の経費執行の流れについて【事務局】..... 資料 1
2. 新パラダイムワークショップ報告【川幡、事務局】..... 資料 2
3. NanTroSEIZE-KAP-Rapid Response Drilling ワークショップ【川幡】 資料 3
4. PEP、SIPCom メンバー選出について【川幡、事務局】..... 資料 4
5. 掘削航海関連報告
 - ・乗船研究者募集、Co-chief nomination【事務局】..... 資料 5、6
 - ・JOIDES Resolution の運航時間の縮小について【川幡、事務局】..... 資料 7
 - ・Exp. 335 で発生した問題について【川幡】..... 資料 8
6. 各担当からの報告..... 資料 9
 - ・JpGU【井上】
 - ・会員提案型活動経費【村山、中西、中村】 資料 10
 - ・各専門部会【各担当(あれば)】
 - ・その他活動【各担当(あれば)】
7. コアスクールの世代交代について【川幡、池原】..... 資料 11、12
8. その他
 - ・その他報告事項など
 - ・次回開催日程

配布資料

- | | |
|--|----------------------|
| 資料 1 J-DESC の経費執行の流れ | 資料 9 IODP 部会執行部の役割分担 |
| 資料 2 5/21 ワークショップ報告 | 資料 10 会員提案型活動経費申請一覧 |
| 資料 3 断層掘削合同ワークショップについて | 資料 11 コアスクール一覧 |
| 資料 4 これまでの SSEP, SPC, SASEC 委員 | 資料 12 コアスクールの問題点の抽出 |
| 資料 5 Exp. 340、341 乗船応募者リスト | |
| 資料 6 Co-chief nomination list | |
| 資料 7 JOIDES Resolution の運航時間の縮小について | |
| 資料 8 IODP Exp. 335 中に発生したセクシャル・ハラスメント事件報告および対策依頼 | |

議事録(案)

はじめに今回初めて出席した委員の自己紹介があった。

1. J-DESC の経費執行の流れについて

事務局より資料 1 に基づき、表記の件について説明がなされた。

- J-DESC の会費から支出する経費の執行の流れ(前期執行部にて適用)は、以下の通り。
 1. 実施者から部会事務局(CDEX 科学計画グループ)に実行計画が届く
 2. 部会事務局から該当する部会の執行部に対して承認の伺いを立てる
 3. 承認が下りたら実施者に部会事務局から連絡をする
 4. 実施者により経費執行の後、部会事務局に証憑類を提出
 5. 部会事務局から執行部会計担当に証憑類を転送
 6. 会計担当から、J-DESC の会計管理を委託している学会支援機構に対して証憑類を送付し、振り込み指示(この際、予算書のどの項目から支出するかを明示)

合意項目(110602-01):執行部会への出席のための旅費は希望者には支払う。手続きとしては、出発駅と到着駅のデフォルト経路情報と、口座登録書を会計担当の森田委員に送り登録する。以降、会議に出席した場合のみ、森田委員が出席を確認し学会支援機構に支払いの指示を行う。飛行機を使用の場合は領収書を提出する。

合意項目(110602-02):執行部会旅費以外の経費執行に関しては改めて検討する。

2. 新パラダイムワークショップ報告

川幡部会長より、表記の件について報告がなされた。

- 140 名ほどが参加。
- 幅広い分野から講演があった。
- INVEST の際に実施した分野別ワークショップは大変有意義であり、プロポーザル発掘の場として有用であるため、今後も開催していくことが望ましい。
- プロポーザル発掘ワークショップの開催については、CDEX の国内支援予算を確認してほしい。

3. NanTroSEIZE-KAP-Rapid Response Drilling ワークショップ

川幡部会長より、表記の件について説明がなされた。

- 会員提案型活動経費の申請があった(JAMSTEC/IFREE 斎藤氏提案)。現在審査中。
- 3つの対象地域で、何が違うのか、これから何をしなければならないのかを明確にし、掘削提案との切り分けを行うことを目的とする。
- また、それを東北太平洋沖地震断層緊急掘削の掘削プロポーザルの完成度向上に生かしてもらおう目的もある。

4. PEP、SIPCom メンバー選出について

ディスカッションに基づき、候補者の選出を行った。

- 前回執行部会での合意事項に基づき、プロポーネントは委員に推薦しない。
- PEP は生命、環境、地震、岩石からそれぞれ 2 名ずつ、もう 2 名は年代決定できる分野および不足

実行項目(110602-03):各候補者に対して連絡をとり、委員就任への承諾をとる(実行者:各担当者)。

5. 掘削航海関連報告

資料 5、6 に基づき事務局より標記の件について報告がなされた。

• 乗船研究者募集、Co-chief nomination

- Exp. 340 は 5 名応募(あと 2 名応募が必要:Co-chief は石塚氏)。Exp. 341 は 4 名応募(あと 4 名応募が必要)。
- Exp. 340 Lesser Antilles は P-mag などが必要。

- Exp. 341 Alaska は Sedimentologist、Geochemist、P-mag、Physical Properties Specialist などが必要。
- Exp. 337 下北は日程がフィックスされた後で、すでに決まっている乗船研究者に連絡し、事態が出た場合、追加募集を行う。
- これからスケジュールリングされる予定の以下の航海の Co-chief について IODP-MI から連絡があり、候補者を推薦した。
 - 758-Full2: Serpentinization, fluids and life: Biogeochemical and tectono-magmatic processes in young mafic and ultramafic seafloor (MSP/North Atlantic)
 - 595-Full4: Deep Riser and Non-Riser Drilling on the Indus Fan and Murray Ridge: Reconstructing Erosion of Tibet, western Himalaya and the Karakoram from the Detrital Record (JR/Arabian Sea)
 - 697-Full3: The rear arc: the missing half of the subduction factory (JR/Izu-Bonin Arc)

実行項目 (110602-04) : 乗船者応募勧誘の参考とするため、これまでの乗船者・応募者リストを作成し、執行部に送る(実行者:事務局)。

• JOIDES Resolution の運航時間の縮小について
川幡部会長より資料 7 に基づき説明がなされた。

- 油価の高騰により、JR の運航時間が 6 カ月／年に縮小される。
- USIO はトランジットをなるべく少なくしたい意向があり、2013 年までに太平洋には戻らない可能性が高い。

• Exp. 335 で発生した問題について
川幡部会長より資料 8 に基づき説明がなされた。

- Exp. 335 でセクシャル・ハラスメント事件が発生したとの報告が J-DESC からの乗船者よりあった(詳細は資料 8 の通り)。

実行項目 (110602-05) : 抗議文の原案を作り、執行部全体で確認した後で、全 IO、PMO、IODP-MI に対して送る(実行者:川幡部会長)。

6. 各担当からの報告

• JpGU【井上】

- タウンホールミーティングが 5/24 に開催された。
- 約 100 名が参加。
- 文科省柴田氏、IODP-MI 末廣氏、IODP 部会川幡部会長、陸上掘削部会佐藤部会長より話題提供があった。
- 来年も実施する。

• 会員提案型活動経費

村山委員(審査委員長)から資料 10 に基づき説明がなされた。

- 今年度すでに 4 件の申請があった。
- 2 件については審査が終了し、申請額満額で採択。
- 1 件は現在審査中。もう 1 件は事務局からの申請書類待ちの状況。
- 現在審査中の 1 件については実施まで時間がないが重要な案件のため、急いで審査を行う。

• 各専門部会【各担当(あれば)】

森田委員より、環境保護安全専門部会の報告がなされた。

- これまでの EPSP 委員ローテーションおよび会議履歴の確認・紹介をはじめ、今回の EPSP のレビュー案件確認、CDEX からの昨年度の掘削航海の報告がなされた。
- 6/1~3 に EPSP が開催される。今回は日本から出ている掘削プロポーザルのレビュー案件はない。

• その他活動【各担当(あれば)】

会計担当より、デフォルト経路情報と口座情報の提出が求められた(フォーマットは 5/19 に梅津より送られたメールに添付されている)。

7. コアスクールの世代交代について

池原氏より説明がなされた。

- ・ コアスクールの基礎コースはこれまでの7年で9回開催し、いくつか問題点が積み重なってきた。
- ・ 主な問題点は以下の通り。
 - 人材不足で、毎年講師が同じ。
 - 実施者の負担が大きい。
 - 実習に使えるサンプルを獲得するのが難しい。
 - 資料(レクチャーノート)を作るのが大変。にもかかわらず、位置づけがあいまい。
 - コース間の連携がない。
 - 問題はボランティアで運営されていることにも起因する。

その後、ディスカッションが行われた。

- ・ J-DESC として組織だった運営が必要。
- ・ コア解析基礎コースのみ補助増額を検討する。
- ・ 人材確保の方法として IODP 乗船者のリストや参加経験者のリストを有効に活用する。
- ・ J-DESC からボランティアに対して感謝状を送ることや、ウェブページに氏名を掲載することを検討。
- ・ コアスクールをアウトリーチ活動として認めてもらえるように各機関に働き掛ける。
- ・ テキストは買い上げについて検討する(CDEX または J-DESC)。

合意項目(110602-06):引き続きボランティアベースで運営することを前提に、運営者の負担軽減、運営協力者の確保、運営者へのメリット提供等について次回以降執行部で検討を行う。

8. その他

・その他報告事項など

中村委員より、東北沖地震の地下構造探査のデータを IFREE 外の方にも見てもらおう機会を作りたいと考えており、J-DESC のメールニュースで宣伝していただきたいとの旨が報告された。

・次回開催日程

7月に開催。開始時間を14:00に変更する予定。